

2026年5月26日

## BVT1 ヘッドコーチ（監督）規程

### 1 はじめに

本規程は、ビーチプロツアー（Beach Pro Tour）において実施されているコーチングテストを踏まえ、BVT1 においても 2026 年度より試験的に導入するものである。なお、本大会においてヘッドコーチは「チームメンバー」に含まれるものとする。

本規程は BVT1 Sports Regulation2026 とともに運用する。

### 2 ヘッドコーチの人数

ヘッドコーチは、1 チームにつき 1 名までとする。また、1 名のヘッドコーチが複数チームに登録することを認める。

### 3 ヘッドコーチの義務

ヘッドコーチはチームとともに会場で受付を行わなければならない。代理での取得は認めない。AD カードは常に身に着け携帯するものとする。また、ヘッドコーチは試合開始前に、スコアシートに記載があるチームの内容を確認し、署名することが求められる。

### 4 ヘッドコーチの権利

ヘッドコーチは、ウォームアップ開始から試合終了の最終ホイッスルまで、プレーエリアへの立ち入りが認められる。マッチプロトコル開始時に試合コートにいない場合、以後のタイミングでの立ち入りは認められない。また、以下の場面に限り、チームベンチにおいて選手へ指示を行うことができる。

#### ※補足

その他スタッフによるマッチコートでのウォームアップのサポートは、マッチプロトコル開始（試合開始 10 分前）までとする。それ以降はマッチコートからの退出を求められる。

- ・ウォームアップ中（ただしウォームアップ中はチームベンチに限らない）
- ・セット間のインターバル中
- ・通常の試合中断時「タイムアウト（TO）、テクニカルタイムアウト（TTO）」
- ・特別な試合中断時「メディカルタイムアウト（MTO）、リカバリーインターラプション（RIT）」

TO は、公式のハンドシグナルにより要求することができる。この場合、ボールがプレー外であり、かつファーストレフェリーのサービスホイッスル前でなければならない。

以下の場合の要求は「不当な要求」とみなす。

- ・ファーストレフェリーのサービスホイッスル後、または同時の要求
- ・当該セットにおいて既に TO を使い切っている場合

なお、不当な要求により試合再開が遅延したり、不当な要求が繰り返された場合、当該チームは遅延行為として罰則が適用される。

## 5 試合中のコーチング（指示）について

ヘッドコーチの指示、行動を以下の様に定める。

- ・通信機能のある腕時計（スマートウォッチなど）、タブレット、携帯電話等を含む電子機器を所持、使用しないこと
- ・試合開始から終了まで自チームとともに行動すること
- ・複数コートで試合を行っている大会で、複数チームに登録しているヘッドコーチが、1つのチームの試合中にコートを退出し、別のチームの試合（マッチプロトコル開始時まで）に入ることは可能だが、元の試合に戻ることはできない
- ・ラリー中はもちろん、ボールデッド中、コートスイッチ中や TO・TTO・セット間のためにチームベンチに戻るまでの移動中は指示できない（声による指示のみならず、ハンドシグナルや目線等によるいかなる指示も行ってはならない）
- ・コートスイッチの際は、チームとともに移動し、常に自チームと同じ側に位置しなければならない（選手への指示はできない）
- ・指定されたチーム座席エリアにおいて、プレー中およびラリー間は着席を維持すること  
プレー中の起立は認められないが以下の場合を除く
  - ①コートスイッチ時
  - ②セット間のインターバル
  - ③通常の試合中断時に選手へ指示を行う場合
  - ④特別な試合中断時
- ・ラリー中、ボールデッド中において、指示では無い声援等も認められない

本規程に違反し、ファーストレフェリーまたはセカンドレフェリーから注意を受けた場合は、選手と同様に段階的罰則の対象となる。

違反があった場合、当該ヘッドコーチは試合中、チーム座席エリアでの着席を認められない場合がある。最悪の場合、当該ヘッドコーチはプレーエリアから退場を命じられ、その試合への関与は認められない。

なお、病気・負傷・トイレ等のやむを得ない場合を除き、ヘッドコーチは持ち場を離れてはならない。やむを得ず離席する場合は、リザーブレフェリー、レフェリーコーチ、または大会役員の帯同のもと移動するものとする。

## 6 医療時の対応

選手が負傷した場合、ヘッドコーチはファーストレフェリーの許可を得た上で競技エリアに入ることができる。また、医療対応中に選手が競技エリア内でウォームアップを行う場合、ウォームアップが認められるのは選手のみとし、ヘッドコーチは参加できない。

## 7 ウェアについて

ヘッドコーチのウェアは以下の様に定める。

- ・選手と区別可能なウェアを着用しなければならない  
例：Tシャツ、ポロシャツ、ウインドブレーカー等
- ・ショートパンツおよびトレーニングパンツは着用可
- ・ジーンズは着用不可
- ・広告表示は「BVT1 ユニフォーム規程 2026」に準拠する場合に限り認める
- ・履物はスニーカーを推奨するが、サンダルおよびビーチサンダルの着用も可能とする
- ・裸足は不可

## 8 禁止事項

ボールがプレー外にある場合に審判と会話できるのは、チームキャプテンのみとする。同一大会に選手として出場している者は、ヘッドコーチとして登録できない。

また、チームメンバー（選手）が本規程に違反してヘッドコーチの助言を得ようとし、試合進行を妨げた場合も、チームは遅延行為として罰則が適用される。

チームメンバー（ヘッドコーチを含む）による審判、対戦相手、チームメイト、観客に対する不法な行為については、その重大性に応じ、ファーストレフェリーの判断により以下の罰則を適用する。

- ・ペナルティ
- ・退場
- ・失格

付則

2026年4月1日 施行

2026年5月26日 改定